

大谷選手がバンディ世界選手権の結果を報告 ほか

日本代表大谷選手 世界での激戦を報告

バンディ日本代表選手の大谷賢司さんが1月30日に浜田正利町長のもとを訪れ、同月スウェーデンで行われたバンディ世界選手権の結果を報告しました。昨年銀メダルを獲得した日本チームには、今大会金メダルへの期待が寄せられていましたが、残念ながら4位という結果に。大谷さんは「世界のレベルが上がっていて苦戦を強いられました。今シーズンも町や関係する方々の協力により専用リンクを造っていただき、練習に励むことができた。皆さんへの感謝を込め、来年改めて世界に挑みたい」と話しました。



来年の世界選手権に向けて意気込みを新たにした大谷さん(右)

工事の安全を願う

新得水力発電所建設所 開所安全祈願祭

1月17日、北海道電力新得水力発電所建設所の開所安全祈願祭が同所で開かれました。浜田正利町長など町関係者のほか、北海道電力鮎魚住元取締役常務執行役員をはじめとする北海道電力関係者ら28人が出席。玉串奉奠など神事を行い、工事の安全を願いました。新得水力発電所は、老朽化した上岩松発電所(1号)の廃止に伴い新たに建設され、平成31年に着工、平成34年に運転開始を予定しています。



工事の安全を祈願する出席者

冬期の避難所運営、 災害への備えを学ぶ

平成30年度新得町防災研修が1月27日、町公民館で行われ、北海道や役場の職員、町民ら約70人が参加しました。研修では冬期の大規模地震発生による停電を想定。救済物資が届く以前の避難所での初期対応として、職員と避難住民の協働による発電機の稼働、ジエットヒーター・ポット式ストーブによる暖房の確保、サークルライトの組み立てが行われたほか、既存のダンボールを使ったダンボールベッドの作成が行われました。また、北海道総務部危機対策局危機対策課の職員が「冬期災害への備えと対応」と題して講演。自衛隊OBであり、平成28年の台風災害や北海道胆振東部地震で被災地に派遣された職員が実体験を踏まえ、他町での災害対応の事例や対策方法を話しました。研修第2部では、新得消防署員・消防団員の指導のもと心肺蘇生救護訓練を実施。傷病者発生を想定し安全と反応



消防署員・消防団員の指導のもと救急蘇生法を学ぶ参加者



ダンボールベッドを作成し使い心地を確かめる参加者

確認から119番通報、人工呼吸、胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)操作などの実技訓練が行われました。炊き出し訓練ではアルファ米や缶詰のパンなどの非常食の試食を行いました。研修に参加した施設職員の武田克仁さんは「実践的のためになる研修だった」と話しました。

広報モニターからの声

広報モニターさんから「広報しんとく1月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼特集記事について

(新春座談会について)

・今後の社会を見据えたうえで、職業や生き方の選択肢が増えることで、「男女」の区分けではなく「誰」の個人レベルまで細分化されていくと思います。社会における最小単位のコミュニティーの中で誰がどの仕事を担っていくかはお互いの関係性から決定され、個々の能力を発揮できる社会が、仕事家庭問わず実現されれば良いなと思います。
・文字が続いていたらため長く感じました。
・テーマとして、この話題はとても良いものだと感じました。子育てのバタバタの中で子どもと一緒に親も育てられているとつくづく実感で思っています。

・自分には2人の娘がいますが、育児も家事も家のことは皆がしなければならぬ、特に家事は生活の基本技術なので性別は関係なく身につける

ものだと教えています。日本の女性の社会での活躍の機会は世界的に遅れているといわれますが、男性が家事を手伝うという感覚から抜けて、一緒にやるのが当たり前の中になると嬉しいですね。社会の様々な制度や職場環境の改善はもちろんですが、普段の生活の中でも意識改革が必要ですね。

▼その他の記事について

○成人式について

・成人式の1コマでは左読みで名前表記の順番が右、左と並んでいたため、写真に写る人物と対応しておらず読みづらいつ感じました。
・1月号の楽しみは成人式のカラ写真です。小さい頃から知っている子どもたちがいつの間にか立派に成長しているの、眩しいくらいです。

○「つながり」について

・高齢者の入退院のサポートと流れが掲載されていました。入院などによりご家族の生活ががらりと変わることもあり、準備や窓口の情報掲載は重要なことだと思います。

○「ふるさとの顔」について
・金婚式での憧れのウエディングドレスとタキシードを着てご家族で撮ったなんて本当に素晴らしいサプライズですね。

▼1月号全体について

・年末らしい写真が掲載されていました。クリスマスに餅つきと毎年心温まる風景です。餅つきはつき手が集まらず大変だと聞いていますが、今後はこういった行事は減ってしまわないか心配です。
・パツと見てどれが特集のページなのか、表紙だけでなく特集のページにも表記があるとうわかりやすいかと思えます。



ひびく手話講座

～No.53～

○耳の日(3月3日)

～パターン①～



右手で耳をつかむ

【目】



丸めた右手2指の先を左に向け、胸の前に置く

～パターン②～



3指を伸ばした両手を、両耳の横に置く